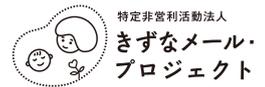


特定非営利活動法人 きずなメール・プロジェクト 2014年度 年次報告書



2014年度 活動実績

01 自治体サービスとしての「きずなメール」に手応えをつかんだ2014年でした。

妊娠中からお子さんの3歳の誕生日まで、赤ちゃんや子どもの月齢にあった情報やメッセージを継続的に届けるのが「きずなメール」です。団体設立以来、自治体や産院等の医療機関との協働サービスとして配信することを目指して提案活動を続けてきましたが、2014年度は自治体サービスとしての実績が増え、普及活動にも力を注いだ1年となりました。2013年に3自治体、14年度中に配信開始した自治体は5つ増え、8つになりました。また、昨年度中に300を超える自治体に提案活動をした結果、2015年度はさらに導入自治体数は大きく伸びる予定です。

お腹に赤ちゃんが授かった時点から子育て中まで、孤立しがちな母親、父親に継続的に寄り添う「きずなメール」は、母子手帳のように、日本全国の標準的なサービスになる力があると、私たちは信じています。2014年度は、その実現に向けて、大きな一歩を踏み出すことができました。これからも日本中のどこでも受けられる「孤育て予防」サービスをめざして、サービスそのもののブラッシュアップと普及を推し進めていきます。

2013年度配信開始
東京都文京区
宮城県女川町
神奈川県相模原市
2014年度配信開始
東京都中央区
東京都江東区
鹿児島県鹿屋市
東京都八王子市
東京都墨田区
2015年度
19自治体で開始予定
他、産院9、子育て応援団体1、企業1、健保2ヶ所でも配信中。



中央区での打ち合わせ風景。



鹿児島県の鹿屋市でも配信を開始。

02 自治体や民間の子育て応援「アプリ」でも読めるように！

「きずなメール」は、「コンテンツ（テキスト）による社会課題へのアプローチ」です。「コンテンツの内容や届け方」によって、「場」や「人」を介した直接的な支援との相乗効果を目指します。

自治体でも子育て支援情報をアプリにまとめる方法が増えてきています。14年度は、墨田区の子育て応援アプリにきずなメールのコンテンツが入りました。

墨田区ではアプリできずなメールを配信中。

ミッションに共感してくださったベネッセ、博報堂DYMPのアプリにもコンテンツを提供中。

03 もうひとつの虐待予防活動として「ゆる育児キャンペーン」に参加

きずなメール・プロジェクトが取り組む社会課題の一つに「乳幼児虐待の予防」があります。「ゆる育児キャンペーン」は、11月の児童虐待防止推進月間に、東京都内の子育て支援団体が連携して、「ゆる育児」をキーワードにして行う児童虐待予防の共同キャンペーンです。きずなメール・プロジェクトは2012年のキャンペーン開始時から立ち上げメンバーとして積極的に参加しています。団体にとっては、リアルな講座やイベントを行う貴重な機会です。

昨年3回目を迎えた「ゆる育児キャンペーン」できずなメール・プロジェクトは、開一夫先生を講師に迎え、12月6日に産前産後の夫婦に向けた「なるほど！赤ちゃんサイエンス」講座を開催。赤ちゃん含め20名（カップル7組、妊婦さん3名含む）にご参加いただきました。

また、同キャンペーンでは、世界で初めて子どもへの体罰禁止を法制化した国・スウェーデンの大使館にご協力いただき、同大使館のホールで勉強会「ゆる育児フォーラム in スウェーデン大使館」を開催。都内子育て支援団体や行政関係者など多数ご来場いただき、横の連携を確認する貴重な機会となりました。



スウェーデン大使館では松本が司会のひとりを務めました。また代表・大島が「ゆる育児宣言」の紹介をしました。



「赤ちゃんサイエンス」講座にて。

04 設立4周年記念感謝祭を開催

11月2日には、団体として初めて感謝祭を開催。約50名の関係者の皆様に集まっていただきました。

会は、これまで4年間の活動軌跡を振り返った他、設立時からさまざまな形で応援・支援してくださったボランティア、プロボノ、原稿制作協力者、導入先、子育て支援関係者の方々全員が、それぞれの思い出を一言コメントするという形で進行。改めて、大勢の方に支えられてきたことを実感すると共に、皆さまからの言葉を聞きながら、どんな立場でも、どんな活動でも、想いあってこそと励まされ、新たに勇気をいただいた会となりました。



場所は廃校跡を活用した協働ステーション中央のイベントスペース。総勢約50名が集いました。

2014年度 収支報告

科目		2014年度実績
収入	事業収入	14,362,593
	受取助成金等	1,520,000
	その他	115,412
当期収入合計		15,998,005

科目		2014年度実績
支出	事業費	12,443,576
	管理費	1,646,357
当期支出合計		14,089,933

税引前当期正味財産増減額	1,688,072
法人税、住民税及び事業税	854,400
当期正味財産増減額	833,672
前期繰越正味財産額	1,181,933
次期繰越正味財産額	2,015,605

きずなメール・プロジェクトの事業形態は、「事業型NPO」「ソーシャル・ビジネス」と呼ばれる形に属します。「事業型NPO」とは、補助金や助成金に頼る割合を少なくし、事業そのものの収益で職員の雇用を確保しながら、継続的かつ組織的に社会課題に取り組む事業体の有り様を指します。2014年度、新たに常勤スタッフを1人迎え入れ、自治体への提案活動を強化することができました。

2015年度もさらに自治体等への提案活動に励み、また、持続可能な団体になるべく努力して参ります。まだまだ規模は小さいですが、育児中の女性・男性が、気持ち良く、そして能力を最大限引き出せるような働き場となるよう実践していきたいと考えています。

メディア掲載

●テレビ・ラジオ

- 2014年9月3日 NHK「おはよう日本」で「きずなメール」紹介
- 2014年10月3日 NHK鹿児島放送局のニュースで「鹿屋市子育てすくすくメール」紹介
- 2014年11月3、10日 中央エフエム「子育て応援番組！ママスタリ」で副代表・松本のインタビュー
- 2014年11月11日 MXテレビのニュースで「ゆる育児キャンペーン」紹介
- 2014年12月14日 MXテレビ「選挙特番！首都決戦2014」に子育て支援NPOの代表として大島出演

●新聞・雑誌

- 2014年2月13日 日本経済新聞夕刊にて産前産後ケアの事例としてきずなメール掲載
- 2014年9月4日 朝日新聞で中央区の男性向けきずなメール（あのねパパメール）掲載
- 2014年9月25日 西日本新聞で「鹿屋市子育てすくすくメール（妊娠期・出産後）」掲載
- 2014年9月26日 南日本新聞で「鹿屋市子育てすくすくメール（妊娠期・出産後）」掲載
- 2014年10月6日 朝日新聞で「鹿屋市子育てすくすくメール（妊娠期・出産後）」掲載



NHK「おはよう日本」。



MXテレビの選挙特番。



ラジオ収録にて。

スタッフ紹介

大島・松本のふたりで設立し、多くのプロボノ、ボランティアに支えられて試行錯誤してきた創業期。2014年度は念願の常勤スタッフを1名迎えることができました。2015年度は第二創業期といえる大事な時期で、スタッフもさらに増えます。団結して「新しい命への祝福」事業を日本へ、世界へ広めていきます。

〈スタッフメッセージ〉

きずなメールで働きはじめてやっと1年が経ちました。「きずなメールが大好き・きずなメールを広めたい」という気持ちだけで走り続けた1年でしたが、導入自治体も微増ということで、子育てに家族に役立つことをとてもうれしく思っています。

2015年度の目標は大きく2つ。自治体導入を足がけに読者をさらに増やすことと、導入して下さっている自治体へ丁寧な振り返りとブラッシュアップを行うことです。

より地域に密着したサービスに育てていきたいと思っておりますので、今年度もよろしくお願いたします。 **増田ふみこ**



南阿佐ヶ谷の事務所に。

日本全国の標準的サービスとして、 孤育て予防に役立ちたい。

創業して5年。松本と二人で想いだけで始めた事業が今まさに広がりを見せ始めています。こういう時こそしっかりした目標設定をと思い、定めた長期目標が

- ①母子手帳のように、日本の標準的なサービスとして一般化すること
- ②多言語化による海外展開

のふたつです。「きずなメール」は前例のない新しい事業であり、コンテンツを核とした、社会課題への新しい取り組み方です。だからこそ広げる喜びとともに、責任の重さも感じています。コンテンツの質を保ちながら日本と世界に広げられるべく、事業体としてさらに力強く成長していきますので、これからも応援をお願いいたします。価値ある未来を造るべく、ともに頑張りましょう。

代表理事

大島由起雄

松本やかり

ここまでの4年間を支えて下さった皆さま、本当にありがとうございます。

NPO法人きずなメール・プロジェクトは、2014年度を終え、新たな気持ちで15年度を迎えられることができました。

妊娠中、毎日、胎児の成長を紹介する1冊の本にとっても励まされたという自らの経験から、親になる不安、孤独な子育てを解消するには「きずなメール」が役立てるはずだという思いで、ここまでやってきました。きずなメール読者からのメッセージを読むと、さまざまな不安や戸惑いを感じながら妊娠生活、子育てを送る方は多いし、家族だけでなく、地域や周囲とゆるやかにつながることが、ひとつの孤育て予防策だと感じます。5年目も精一杯、活動に取り組んでいきます。

Special Thanks 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(プロボノ支援) / GBパートナーズ(会計サポート) / すきなみ協働プラザ(中間支援) / 協働ステーション中央(中間支援)



特定非営利活動法人

きずなメール・プロジェクト

〒166-0015 東京都杉並区成田東3-3-14-102
Tel 03-6317-5575 Fax 03-6322-3673
ホームページ www.kizunamail.com